

第 4 回審議会	
資料 4	R7.3.25

令和 6 年度第 4 回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会
(ごみ収集車体験 部会)

令和 7 年 3 月 2 5 日 (火) 午後 5 時から
クリーンセンター 1 階 展示・学習室

【担当】

- ・井手委員
- ・岡本委員
- ・永川委員

【前回要望・意見】

- ・ごみ収集車の 2 台配置 (1 台は吉野清掃から搬出)
→2 台配置可能
- ・体験待ちのために日除けのテントを 2 基設置したい。また、送風するため扇風機を使用したい。
- 日除けのテントを 2 基設置するが、扇風機は使用しない。設置場所等を考慮の上、扇風機は使用しない。

【案】

- ・ごみ収集車の操作体験，ごみ収集車の乗車体験
 - ・調布清掃・吉野清掃で 2 台配置 (パッカー車・ビン収集車)
 - ・パッカー車はエンジンをかけ，操作体験に使用。ビン収集車は，エンジンを切り乗車体験に使用。
 - ・パッカー車の後方に投入用のごみ袋を設置。
- 体験待ちの来場者の並びは，パイロンやポール等を用いて管理，ごみの投入口周辺へは，体験者以外近づかないよう管理。
- ・順番待ちのスペースには日除けのテントを 2 基設置

体験内容

- パッカー車周辺に設置したごみ袋を取り，車両後方の投入口に投入。
車両後方に設置された操作ボタンを押し，ごみ袋が収集車の中に格納されていく様子を確認。
- ビン収集車に移動し，運転席に乗車。車内の様子や車内から見える視界等を確認。乗車の様子等，撮影可

ごみ収集車体験 部会 検討シート

①ブース配置等の検討

車両，順番待ちスペース，パイロン・バー，人員等

※動線を確認しながら配置，保護者等の同行者の扱いや撮影箇所等も

※人員の配置と役割も想定しておく

②体験者の管理について

・テント内（2基分）4.8m×7.2mで並べる人数や体験にかかる時間，中に格納されたごみをダンプアップして取り出し，体験用に再度ごみ袋をセットする時間など想定しておく。テント内の並びの流れも想定。

テント内に入りきらない希望者が出てからは，整理券を渡していく。並びがある程度解消されたタイミングで，マイク等で番号を呼ぶ（○番～○番の方）。読んだタイミングで来なかった場合も整理券を持参すればそのあとの番号の並び待ちに入れる。整理券配布者を消化し，テント内で並びが消化できるようになったら，整理券の配布を停止。

③安全確保について

④必要物品の確認

用意するごみ袋の数については設置スペースや体験上の回転効率を考慮

⑤目標の検討

第 4 回審議会	
資料 4	R7.3.25

令和 6 年度第 4 回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会
調布ごみナビ（機能説明・紹介）部会

令和 7 年 3 月 2 5 日（火） 午後 5 時から
クリーンセンター 1 階 展示・学習室

【担当】

・森下委員

【前回の要望・意見】

・ごみナビで出来ることをチラシにまとめ配布

→可

・ごみナビの魅力を伝えられるようなキャッチーな標語を決定し、掲示してアピールしたい

→可

・外部からも評価されていることを裏付けるものとして、調布ごみナビの大賞受賞の様子を掲示してアピールしたい

→対応可能、写真用意

・担当同士でごみナビ機能をアピールするような内容の掛け合いを行ったり、大型のタッチパネルモニターがあるそうなのでそれも活用しつつ、ごみナビ体験コーナーにつなげられるようにしたい。

→大型タッチパネルモニター搬送不可、クリーンセンターのモニター（55型）を搬送して対応。

【案】

調布ごみナビの機能説明や登録対応を実施

ブースはテント（幅 360 c m × 奥行 240 c m）×1、長机（幅 180 c m × 奥行 45 c m）×3 を使用想定

クリーンセンターの 55 型モニター使用想定

・ごみナビで出来ることをチラシにまとめ配布

・調布ごみナビの大賞受賞の様子を掲示

・ごみナビの魅力を伝えられるようなキャッチーな標語を決定し、掲示してアピール

調布ごみナビ（機能説明・紹介）部会 検討シート

① 配布チラシ（調布ごみナビで出来ること）の構成の検討

② 魅力が伝わるような標語の決定

③ 必要物品の確認

※モニターの配置場所等も検討

④ 来場者対応の流れの確認

⑤ 目標の検討

第 4 回審議会	
資料 4	R7.3.25

令和 6 年度第 4 回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会
調布ごみナビ（体験）部会

令和 7 年 3 月 2 5 日（火） 午後 5 時から
クリーンセンター 1 階 展示・学習室

【担当】

- ・新野 委員
- ・佐藤 委員

【前回の要望・意見】

ごみのサンプルは 100 個くらい用意したい。その中から 3 つ選んでもらい、3 回分別の検索をしてもらう。

→体験待ちの来場者の管理も含め、円滑に体験を進められるように。

分別項目ごとにサンプルを用意しつつ全部で 15 程度用意。複数人同時に体験を実施。委員がランダムでサンプルを提示し、検索機能を使い体験者に分別検索をしてもらう。正解したらリサッチョ・エコッチョシールを渡す。並び待ちが少ない場合は、複数回検索体験をしてもらう。

- ・ごみナビで 3 つのごみの分別を確かめたら、分別コーナーに持っていってもらおう。そこでシールを渡し、サンプルを返しに行く際に、そこにいるヨーカードーのキャラなどにシールを自由に貼ってもらっても良くするなどしたい。

→分別先の長机は廃止。委員が提示したサンプルをその場で検索してもらう。ヨーカードーのキャラ（ハトソン）の着ぐるみにシール貼るのは不可。子どもたちに渡したシールは各自好きに使ってもらおう。

- ・サンプル 100 個の中には、例えば土など AI で対応できないものも混ぜておきたい。対応できなくてどうしようとなったら、次の分別ごみコーナーで相談してもらうよう誘導したい。

→AI で対応できないものは含めない。円滑に体験を進めつつ、体験コーナーで対応を完結させられるように。分別を間違えやすいものをサンプルで用意。

【案】

長机（幅 180 c m × 奥行 45 c m）× 2 程度の使用を想定

- ・体験

分別項目ごとに複数用意しつつ全部で 15 程度サンプルを用意。委員がランダムに物品を取り出し、体験希望者複数人を対象に、取り出した物品をワード検索もしくは画像検索機能を使って分別を確認してもらう。体験待ちの方の並びに余裕があれば検索を 2 回実施。正解したらリサッチョ・エコッチョシールを配布
※用意する品物に、AI で対応できないものは混ぜない。

調布ごみナビ（体験）部会 検討シート

① 15 のサンプルの決定とその準備について検討

② 必要物品の確認

サンプルの並べ方・トレイ等使用するかなど体験内容を意識したうえで検討

③ 体験の流れと役割分担の確認

体験の流れを意識しながら，並びが多くなりすぎないように留意し，体験を進行できる様検討・確認

④ 目標の検討

第 4 回審議会	
資料 4	R7.3.25

令和 7 年度第 4 回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会
(ごみ減量・リサイクル協力店 (店頭自主回収店舗), イトーヨーカドーの取組の紹介)

令和 7 年 3 月 2 5 日 (火) 午後 5 時から
クリーンセンター 1 階 展示・学習室

【担当】

- ・安塚委員
- ・千草委員
- ・杉崎委員

【前回要望・意見】

- ・イトーヨーカドーの取り組みの紹介部分については、イトーヨーカードーの意向もあるので確認して詰めていきたい→イトーヨーカードーから内容についての指示は無し、こちらで作成したものを見せていただければとのこと。
- ・来場者が資源等をどこに排出 (持ち込んでいるか) しているか、シールを貼ってもらうための体験用パネルなどを作成したい
→可

【案】

- ・ポスターの掲示は FKE パネル (幅 120 c m×高さ 180 c m) を想定。
- ・ごみ減量・リサイクル協力店 (店頭自主回収店舗) の紹介ポスター
調布市の地図に店舗の位置出しをし、通し番を振っておく。通し番号・店舗名・所在地, 回収品目等を記載した表を地図余白に盛り込む

- ・イトーヨーカドーの取組の紹介ポスター

イトーヨーカードー国領店が, セブン&アイグループで提言している「GREEN CHALLENGE 2050」に基づき実施している様々な環境負荷低減の取組を紹介 (店頭でのプラトレイやビンなどの資源物の回収等)

※イトーヨーカードーから上記内容作成にあたっての指定は無し。こちらで作成し, イベント前に確認してもらう。環境月間 (6 月) に係るイトーヨーカードーの展示内容等は未定。

- ・体験用のパネル

来場者が資源等をどこに排出 (持ち込んでいるか) しているか, シールを貼ってもらうための体験用パネル。

リサイクル協力店・イトーヨーカドーの取組 部会 検討シート

- ① 参考資料によるリサイクル協力店やイトーヨーカドーの取組の
確認
- ② 掲示物の見せ方・展示方法の検討・必要物品の確認
- ③ 各内容の構成の検討
- ④ 目標の検討

第 4 回審議会	
資料 4	R7.3.25

令和 6 年度第 4 回調布市廃棄物減量及び再利用促進審議会
(古紙・有害ごみ部会)

令和 7 年 3 月 2 5 日 (火) 午後 5 時から
クリーンセンター 1 階 展示・学習室

【担当】

- ・山下副会長
- ・佐々木委員
- ・村門 委員

【前回の要望・意見】

- ・ノートパソコン等で車両火災関連の動画を流せないか
→対応可能、イトーヨーカドー建物躯体の電源口から延長ケーブルを引っ張って対応。火災写真を使用しての説明とどちらが効果的か検討予定。
- ・火災ごみを展示したい
→対応可。ふじみ衛生組合で確保

【案】

- ブースは長机（幅 180 c m×奥行 45 c m）を並べて作成予定。
古紙と有害ごみのブースは離して設置
古紙は佐々木委員（むさし野紙業）、有害ごみは山下副会長・村角委員で対応
- 古紙
古紙に出せるもの・出せないもののリストを作成し展示
古紙に出せるもの・古紙に出せないもの、禁忌品・再生品の展示
先着 3 0 0 名にトイレットペーパーを提供，広報チラシ等にもその旨を盛り込む
 - 有害ごみ
・有害ごみの展示（ライター，スプレー缶，モバイルバッテリー等）
・車両火災の様子のパネルを掲示，併せて火災ごみの展示，ノートパソコンで車両火災関連の動画を流す等
・令和 7 年度から小型充電式電池も有害ごみで収集している旨の案内

必要物品

- ・トレイ（物品の展示用）
- ・展示物品ごとの説明シート（有害ごみ・古紙ともに画像を大きめに）
火災関連写真
- ・有害ごみ各種，火災ごみ，古紙関連物品，ノートパソコン

古紙・有害ごみ分別部会 検討シート

- ① 前回確認した説明シート内容のブラッシュアップ
- ② 小型充電式電池を有害ごみで収集する内容の周知についての説明
シートの構成の検討
- ③ 使用物品の確認
- ④ 説明の流れを意識したうえで、物品の配置の検討。
- ⑤ 目標の設定